



高岡 **北**
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長	山辺 知代
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事	吉谷奈艶子
	国内創立順位・1489	公共イメージ委員長	片岡 長司

第1960回 例会 2月 17日(月)

◇点 鐘

◇ソング “奉仕の理想”

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：NPO 法人アレッセ高岡

理事長 青木 由香 様

米山記念奨学生 アヨブ・アテシャーム 君

◇会長挨拶並びに報告

本日は、青木様、アヨブ君どうぞよろしくお願ひいたします。

今日の午前中は荒れた天気で、また寒波が来るようです。積もった雪も溶けたのに、また降るそうです。最近是不用意な外出は避けろと言われ、お客様にも「リモートで」ととても言いやすくなり、遠方に行くのも億劫になった今日この頃です。皆さんくれぐれも運転される際にはお気を付けください。

先ほど車に乗った時に、今日は何の日かナビが教えてくれたのですが「天使のささやきの日」だそうです。たまにくすっと笑える日があります。今日は「天使のささやきの日」なので、ささやくようにお話をさせていただきました。

◇アヨブ君に2月分の奨学金をお渡しする

皆さんこんにちは。今日の例会に参加できてうれしいです。去年の12月に受けた日本語能力試験N3の結果が出ました。合格しました。幸せです。今年の7月にN2レベルを受ける予定です。難しいと思いますが、できれば合格したいです。N2を合格できれば、どこでも就職できる機会に恵まれます。だから大事です。頑張ります。

今月の最終日からラマダンの月が始まります。ラマダンの時イスラム教の人は朝早く起きて太陽が出る前に何か食べて、そこから日没まで何も食べられません。何も飲めません。我慢します。日没の時にお祈りしてそのあと食事になります。今事務局にも言いましたが、来月の例会は食事なしとお願いしました。最後に今月も奨学金をいただき感謝しています。ありがとうございます。

◇ニコニコBOX 報告

山辺会長：また寒波が来るようです。みなさんお気を付けください。

片岡長司君：4月から弁護士会の会長になることが決まりました。お休みが増えると思いますが、お許ください。

野尻信晴君：片岡さんおめでとうございます。今年はヘビ年。私も何度も何度も脱皮を繰り返し今日あります。そのたびに髪の毛と歯がなくなります。

村牧啓功君：バッジ忘れまして！！

中村勝治君：若鶴酒造の三郎丸スモーキーウイスキーの販売が富山県で2位になりました。蔵見学とランチの招待をいただきました。

【今年度ニコBOX 累計額 256,000円】

◇幹事報告

- 1) 次週2月24日(月)は、法定休日のため休会です。
- 2) 次回3月3日(月)例会は、インターアクト活動報告 高岡向陵高等学校林一心君の卓話です。
- 3) 配布：①4/20(日)地区研修・協議会のご案内(出席義務者)
- 4) 回覧：①会報NO.23(テーブル毎)
②4/6(日)富山第4グループ都市連合会の出欠確認表(最終)
③2025-26年度のロータリー手帳の販売案内 1部880円(～2月25日迄)

◇出席報告 出席者 19名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	1/27 例会 修正出席率
1名	33名	76.0 %	80.0 %



◇本日のプログラム (担当：ロータリー情報)

卓話「アレッセ高岡の活動について」

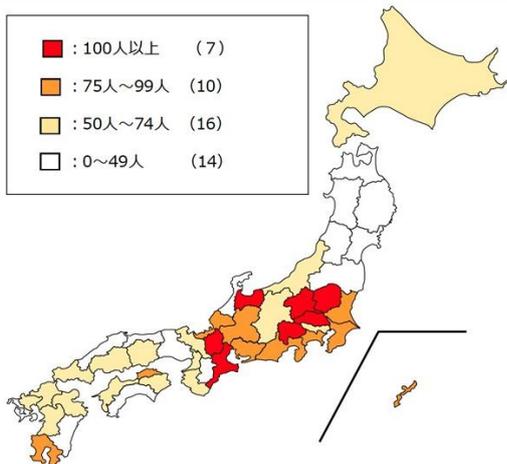
NPO 法人アレッセ高岡 理事長 青木 由香 様

アレッセ高岡を設立してから15年の月日が経ちましたが、その半分以上の時間を高岡北ロータリー様と一緒に歩めたこと、本当に嬉しく思います。ご支援のおかげで、地道な学習支援事業・情報支援事業を継続させることができ、市民性教育事業などその活動範囲を広げ、NPO 法人格の取得など組織基盤の強化も進めることができました。改めまして、深く感謝申し上げます。

さて、高岡市の外国人住民人口は4,392人、人口比2.7%と過去最高レベルに達しています。かつては外国人住民の多くをブラジル出身者が占めていましたが、今では、ベトナム、フィリピン、中国などの割合も高くなっており、多国籍化も進んでいます。学校現場では、少子化が進む中、外国人児童生徒は急増しており、その存在感が高まっています。しかしながら、支援体制の整備がなされているとは言い難い状況が続いており、学校外の支援の受け皿であるアレッセの活動はその重要性を増しているように思っています。

日本語教師1人当たりの在留外国人数 (都道府県別)

※令和5年度時点



出典：文部科学省「令和5年度日本語教育実態調査」、入管庁「在留外国人統計」(令和5年6月末時点)
※日本語教育を実施する機関・施設のうち、大学等機関、法務省告示機関を除く。地方公共団体等、国際交流協会、NPO法人等の所在地を集計。国内のすべての日本語教育を実施する機関・施設等及び日本語教師数を集計したのではない。
※全ての在留外国人が日本語を学習しているものではない。

4

しかし、アレッセ高岡では、外国にルーツを持つ子どもたち・若者たちを一方的な支援の対象者として固定的に捉えるのではなく、よりよい地域の未来を築く一員であり、支え合う仲間として捉え、互いに学び成長し合う市民性教育の活動を推進してきました。昨年度は、パキスタン、ブラジル、中国、フィリピン、ロシア、イギリス、ペルー、日本をルーツに持つ若者たち計20名がチームを組み、多様な県民のための教育環境整備を県知事に提言する「学びの選択肢創造プロジェクト」を実施しました。彼らの提言内容は、外国人だけでなく日本人にとっても学び成長しながらウェルビーイングを実現する、そんな理想の富山県への願いが込められていました。その後、富山県教委が夜間中学のニーズ調査を実施し、設置検討協議会を開催したり、高校入試における外国人生徒特別枠の設置が検討されたり、(多くの外国ルーツ生徒

の受け皿となっている)私立高校の授業料無償化が県独自に打ち出されたりと、富山県は変化の兆しを見せています。

提言内容の実現に向けて、アレッセもただ行政の動きを見守っているわけではありません。今年度はJICA北陸などとともに、支援者、地域、企業等とネットワーク形成に向けて、セミナーやシンポジウムなどを開催してきました。プロジェクトマネージャーとしてその中心を担ったのは、地元の外国ルーツの若者です。卓話で上映させていただいた、学習支援教室に通う生徒たちの「地域への期待の声」、そして、地域の未来をつくる一員としての外国ルーツの若者の活躍は、そのまま、地域に住む私たちの希望だと思います。

今後は、「多様な子ども・若者による」「多様な子ども・若者のための」居場所づくりの活動を推進していきたいと考えています。そのためには、様々なステークホルダーとの連携強化が必須です。今後も、高岡北ロータリークラブの皆様ぜひお力をお借りできれば幸いです。

◎10の提言の位置づけ◎

【1】多様な学びの選択肢を整備して連続性を持たせ、寛容で柔軟な「富山型“多文化”インクルーシブ教育システム」を構築する。

【2】多様なニーズに対応できる新しい学びの場をつくる。

【3】今ある学校を変える - 「誰ひとり取り残さない」寛容で自由な学校・多様な個性を活かして他者と共に課題解決する学校へ-

【4】多様な個性を持つ教員を増やし、教員の多様な子どもへの理解・資質を向上する制度を整備する。

【5】生徒の個性を多様な観点から評価して学校に入りやすくする。

【6】経済格差が学びの格差にならないようにする。

【7】富山県の組織や企業が多様な個性を尊重し積極的に活かせる環境を整備する。

【8】情報の格差をなくす。

【9】多様な県民が学び続けるため互いに支え合う地域のコミュニティづくりを進める。

【10】外国ルーツの当事者の声を教育に反映し、フィードバックする循環型の仕組みをつくる。

